

「笑顔」と「わくわく」があふれる楽しい学校

わくわく通信

NO.3

令和7年5月27日

北広島町立大朝小学校長 大丸 哲男

笑顔広がる田植え体験～日本一おいしいお米への挑戦～

5月26日(月)、5年生の子どもたちは、「わさの舞生産組合」の方のご協力ご指導のもと、「いのちの営」の田植え体験を行いました。

1.3 反の田んぼで、農薬を通常の半分に抑えた「特別栽培米」の苗を植えながら、子どもたちは泥だらけになりつつも、笑い声を響かせながら楽しそうに取り組んでいました。

「田植えをしたことがある人は？」



今年度は、田植えをする品種を選ぶために「コシヒカリ」と「いのちの壺」のお米の食べ比べをしました。子どもたちは真剣な表情で味わい、多数決の結果、「いのちの壺」(コシヒカリの約 1.5 倍もの大粒で、もっちりとした食感で強い甘みの特徴)が僅差で選ばれました。



ブランド米「いのちの壺」

子どもたちは「日本一おいしいお米を作って、みんなを笑顔にしたい！」という思いを胸に、田植えに挑んでいました。

また、「自動水門」の仕組みについて教えていただき、最新のスマート農業の技術に驚きの声を上げる場面もありました。自然と技術が共存する新しい農業の姿に触れることができました。



水を管理する「自動水門」

こうした体験を通じて、自然への感謝や地域とのつながりを深く感じた子どもたちでした。このような貴重な学びの時間を与えていただきました「わさの舞生産組合」の皆さま、本当にありがとうございました。引き続き、皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

【次号予告】

「統合前の不安 安心に変化」(中国新聞ヤングスポット掲載の児童作文から)

新しい環境への不安から安心に変わる瞬間、児童の思いが詰まった児童作文を紹介します。何がきっかけで、不安から安心に変化したのでしょうか。